

「M情報デスク」サポート団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の憲法行為を自覚する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO, DESK FIGHTING REPORT

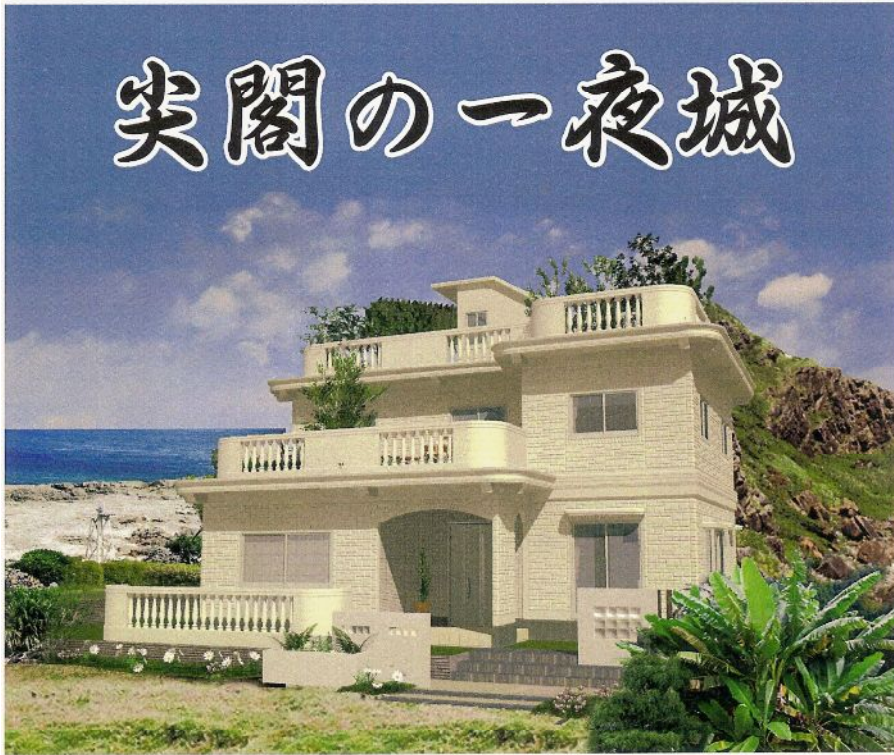


No. 133
 【発行・編集】
 MASUKI情報デスク
 増木直美
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

天気晴朗なれど、尖閣波高し

平成 24 年 月 日

尖閣 詰所寄贈のご提案 場所：魚釣島



鉄筋コンクリート造

実行予定日：平成24年12月8日
 (土曜日開工)

詰所寄贈のお願い

東京都知事 石原慎太郎様

拝啓、突然このようなお手紙を差し上げる失礼をお許し下さい。

私は万年住宅(株)代表取締役中山文夫(仮)と申します。

最近の尖閣諸島問題・『支那』の横暴な言動に対して、日本政府の腰抜け対応に切齒据腕の思いでいっぱいです。何とか民間企業が国のために協力できることはないものか? と検討した結果、尖閣諸島に自衛隊員詰所又は、漁民のための休憩所を寄贈させていただきた

いと思いつきました。我々の扱っている『NMPD・やまと』なる建物は、阪神大震災時、激震地に建っていた40G棟のすべが窓ガラス一枚の破損もなく無傷の実績があります。尖閣諸島地域は台風の発祥地です。大型台風でも鉄筋コンクリート構造の『NMPD・やまと』は安全性が高く、台風、地震・津波保証も行っており、今後の維持管理も経済的です。又、東日本大震災時には、日本初の2階建て鉄筋コンクリート造の応急仮設住宅として福島で採用され好評をいただいております。さらに万『支那』の攻撃を受けても強く、燃えません。

1年前から計画を立てましたが、当時の管政権下では、建設に対する現地調査、建築確認の地主の承諾ができませんでした。
 この度、石原様が、尖閣を東京都が守るんだ! との意思表示をしてくださりました。そこで、『支那』が出てくる前に日本が実効支配をしようとするのが一番よいのではないかとこの提案に至った訳でございます。

①概要

用途等 自衛隊員詰所、漁民の休憩所鉄筋コンクリート組立造約一坪二階建

工期 1日間

費用 建物費用内装一式寄付
 但し、運搬費用は、別途

②『支那』の妨害対策

都知事をお願い

③匿名のお願い

石原都知事の日本国を思う心意気に賛同しているのであります。売名行為ではないので、匿名希望。ただし、左翼、支那の反撃が怖いものでありません。

④注意点

島の名義変更は来年の4月に東京都が買収の計画とのこと。支那が動くとなればこれより早い時期に実効支配してしまう可能性あります。一旦強引にでも奪い取ってしまえば竹島のように日本は諦めてしまふ民族だからです。結論的には、時期は支那が動く来年の1、3月の前の、本年12月がよいと思います。工事は内装まで全て仕上げた

《次頁4段目へ》



新たに中国漁業監視船「中国の海域だ」 尖閣周辺、2日連続
 2012.7.12 サンケイ

12日午前8時10分ごろ、沖縄県・尖閣諸島の久場島北西約41キロの日本の接続水域で、中国の漁業監視船「漁政33001」が航行しているのを第11管区海上保安本部(那覇市)の巡視船が確認した。尖閣諸島周辺で11日、相次いで日本の領海を侵犯した中国の漁業監視船3隻とは別の監視船。

11管によると、巡視船が漁業監視船に航行目的を確認したところ「中国の海域をパトロール中である」と応答したという。

尖閣諸島周辺の接続水域を航行する中国の漁業監視船「漁政33001」=12日午前9時ごろ、尖閣諸島久場島北北西約32キロ

【北京時事】13日付の中国共産党機関紙・人民日報は、野田政権による尖閣諸島(中国名・釣魚島)国有化方針などについて「国家の核心的利益に関する問題であり、中国が半歩すら退くことはあり得ず、後退する空間もない」と絶対に譲歩できない問題と位置付け、日本政府に警告した。

さらに「釣魚島問題が制御できなくなる危険は絶対にはないとは言えない」と武力衝突の可能性を示唆。「日本の政治家は覚悟ができてきているのか」と挑発した。

核心的利益は台湾、チベット、ウイグルなど中国の体制や主権に関わる重大問題を指すが、人民日報は11日付でも尖閣

11日に日本の領海を侵犯した3隻のうち1隻は、同日午後7時前に接続水域を離れたが、2隻は接続水域で航行を続け、「漁政33001」が新たに合流したという。

漁業監視船の侵犯をめぐっては、日本側の抗議に対し、中国側が中国漁船をこの海域に派遣することを解禁する可能性を示唆するなど、日中間の緊張が高まっている。

「半歩も退かない核心的利益」 尖閣問題で武力衝突も示唆—中国共産党機関紙 (2012/07/13)



問題を取り上げ、「核心的利益を断固維持する」と強調。日本向けに強硬な論調を展開している。

一方、中国外務省の劉為民報道局参事官は13日の定例会見で、中国漁業監視船が尖閣諸島周辺の日本領海内に再び侵入したことに対する12日の日本政府の抗議について「拒絶する」と強調。日本の海上保安庁巡視船が漁業監視船の「公務を邪魔したことに強烈な不満を表明する」と不快感を示した。

詰所見取り図
 詳細は HP「百人の会」→TOP「更新記録」→7-15「一夜城の提案」

最後になりましたが、石原都知事の気概を日本国のため、日本国総理となつていただき、ご活躍いただきたいと切に願っております。

各議会からづくづく報告

6月千葉市議会にて意見書可決 H24-64 千葉市議員 穴倉清蔵

発議17号 「青少年健全育成基本法」の制定を求める意見書

明日の社会を担う青少年の健全育成は、すべての国民の願いである。

しかし、今日、我が国の青少年の現状を見ると、連日のように新聞等で青少年の事件報道がある。最近では中学生によるバス強奪や未成年者の無免許運転による小学生死亡事故など社会を震撼させる事件事故が多発し、憂慮すべき状況である。

また、携帯電話等の情報通信の発展とともに、青少年が有害情報に触れる機会がふえたり、書き込み等によって他人を中傷するいじめが学校現場や社会で大きな問題となっている。このように青少年が事件に巻き込まれたり、また事件の当事者になる事例が後を絶たない。

こうした社会の現状を見ると、青少年の荒廃は我々大人が「青少年を見守り支援し、時には戒める」という義務を果たさなかったゆえの結果である。

これらの問題に対して、各都道府県の「青少年健全育成条例」が対処し、一定の効果は上げてきたが、今日では、その限界性が指摘されている。今求められているのは、青少年の健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、有害環境から青少年を守るための国や地方自治体地域社会として保護者等の責務を明らかにし、これによる一貫性のある包括的、体系的な法の整備である。

現在、青少年のコミュニケーションカ

の不足や規範意識の低下、自立のおくれ、家庭・地域の教育力の低下などに見られるように、今一度、社会全体で青少年の健全育成や家庭のあり方を再考し、「家庭の価値」を基本理念に据えた、「青少年健全育成基本法」の制定が必要である。よって、本市議会は国に対し、「青少年健全育成基本法」の制定を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月26日

千葉市議会

発議13号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

平成14年9月に日朝首脳会談で北朝鮮が日本人の拉致を認め、5名の被害者は帰国した。しかし、残りの拉致被害者については平成20年8月に再調査を約束しながらその後の進展は何ら得られておらず、事態は長く停滞したままである。

拉致問題は、北朝鮮による重大な人権侵害であり、日本の国家主権に対する許しがたい侵害である。一方、拉致被害者は、帰国のかなわぬまま年齢を重ね、日本を待つ家族らの高齢化も進んでおり、拉致問題は時間との闘いでもある。

北朝鮮は、昨年末、拉致の実行に深く関与した金正日総書記が死去し、金正恩新体制に移行した。この機をとらえ、一刻も早く現在の膠着した状態を打開し、国の威信をかけて、特定失踪者を含む拉致被害者全員を帰国を実現すべきである。よって本市議会は国に対し、北朝鮮によ

る日本人拉致問題の早期解決に向け全力で取り組むよう強く要望するものである。以上、地方自治法・・・略

平成24年6月26日 千葉市議会

発議14号 外国資本等による土地売買等に関する法整備を求める意見書

近年、全国各地において、外国人や外国人により水源地域の森林等の土地の買収が進んでいる。今後、世界の水需給の逼迫などから外国資本等による買収は一層拡大することが予想される。

諸外国では、外国資本等による自国内の土地所有について、地域を限定したり、事前許可制とするなどの制限を課している例があるが、我が国においては、大正14年に制定された外国人土地法が実効性を失っており、有効な制限がない状況となっている。このまま外国資本等による土地所有が無制限に拡大していけば、無秩序な伐採など水源地域の乱開発による水質の悪化や水資源の枯渇など、良好な自然環境の維持や森林の適切な管理、水資源の保全に重大な影響を及ぼすことが懸念される。

よって、本市議会は国に対し、国土保全や水資源確保などの観点から、外国資本等による森林等の土地の売買や開発行為を規制し、適切な管理体制を構築するための法整備を早期に図るよう強く求める。

以上、地方自治法・・・略

平成24年6月26日 千葉市議会

日の丸条例尼崎市議会にて可決

毎日新聞(6月27日水)

尼崎市丸岡鉄也議員に座布団5枚!

尼崎市議会(定数44)で26日成立した「日の丸条例」。100人を超える傍

聴者が見守る中、学校を常時掲揚の対象外とする修正案が賛成多数で可決された。賛同した議員は「半歩前進」と自賛する一方、反対する議員は「強制はおかしい」と批判した。

条例は、市役所や消防署、講堂、市主催の式典、市立学校の入学式や卒業式で日の丸掲揚を義務づける内容。今年2月に最大会派「新政会」がすべての公共施設で常時掲揚する原案を提出。公明党派は対象から学校施設を除く修正案を提出した。委員会では両案とも否決されたが、この日、修正案が可決された。議長から市長に送付された後、20日以内に公布される見通し。

新政会の丸岡鉄也議員は「会派(11人)だけで過半数は取れず、他会派の協力が必要だった。一歩ではないが半歩前進できた。学校施設については今後考えたい」と話した。公明党の仙波幸雄議員は「学校施設での掲揚には根強い反対があり、落ち着くところに落ち着いたので、(学校では)正しい歴史認識を教育することで、一部の『日の丸アレルギー』を解消していきたい」と話した。

一方で、共産党の早川進議員は「日の丸への思いはいろいろあり、それを強制するのはおかしい」と改めて異論を唱えた。委員会採決が覆ったことについては「委員会制度があり、5カ月もの間審議した結果が否決だった。本来は次の9月議会に議案を出し直すのが筋だ」と指摘した。【生野由佳】

私、増木が仲間10名と傍聴しました。反対派の傍聴人、お行儀の悪いこと。拍手はするはピーチクパーチク。係が注意してもその時だけ。なぜ退場させないだろう。

被爆国として核武装の権利がある

関西防衛を支える会 山本賢一

被爆国として核武装の権利がある

先日、大阪、梅田新道にある「米国総領事館」において開催されたセミナーに参加しました。講師の一人に、人民解放軍の元少将がいて「台湾独立は、日本の大阪や、福岡が独立するようなもので、絶対に容認できない」とのたもつた。台湾がそんなに大事なら、福建省などに1000基以上のミサイルを備えて台湾国民を威嚇するのはおかしいではないか。共産シナは、残酷で下品なやつからである。まともにつきあえる相手ではない。

米国の元將軍は「尖閣列島問題は、日本と中国との二国間の問題と認識しており、米国は中立だ」と公言した。どちらにも暴言であろう。米国さんよ、貴国は日本の同盟国ではなかったのか。同盟国の軍人なら、もう少し違った表現があってもよかった。正直、落胆した。日米安保を信用してはいけない。

支那は、台湾全土をきちんと統治したことがなく、明治の初期、我が国の漁民が、台湾の原住民から虐殺された事件が発生、支那(当時は清王朝)は「台湾は化外の地であり、その原住民が行った行為に対して責任を負う立場にない」と公言した。支那人が過去の歴史認識を、声高に言うのは、あくまでも自国の利益のためだということがよく分かるではないか。共産シナには、そろそろガツンと言わなければならぬ。日本人の覚悟を見せなければならぬ。最も有効な手は「独立国としての尊厳と国益、国民の生命財産を守るため、我が日本国は核武装を検討する」と宣言することである。

イスラエルの覚悟

ユダヤ人の国家・イスラエルはアラブ社会にポツンと浮かぶ小さな国家である。ユダヤ人は、「無抵抗のままカス室に送られるという経験は二度としない」と固く心に誓っている。その思いは、「安全保障が何よりも優先される」という政策に現れている。

イスラエルは、核兵器の保有を事実上実現し、世界最強の情報組織の一つをいわれる「モサド」という情報機関を保有している。いずれも「無抵抗のままカス室に送られない」ための備えである。

ひるがえって、我が国はどうか。我が国は大東亜戦争にてほぼ全ての日本人が直接、間接を問わず悲惨な経験をしている。特に二度にわたる原爆投下による死者数は、事後的な放射能障害による死亡も含めると三十万人を相超越えている。我々は「二度とこんな苦しみ味わいたくない」と強く念じている。

一方、最近の我が国周辺を眺めてみると、すぐ隣の中国とロシアは核武装をしているばかりでなく、強大な軍備を備えている。北朝鮮も核開発を行い既に複数回核実験を行っている。加えてこれら周辺三方国は我が国を射程範囲とする各種ミサイルを保有している。にもかかわらず、我が国には確たる国防態勢もなく、国民を避難させる「核シェルター」も満足に用意できていない。経済力が弱いために国防態勢が整備できないのではな

く、愚かな観念にとらわれているためにしっかりとした国防態勢が取れないのだ。強い国防意識を持つ

私も、一般の人々と同じで、平和で安定した社会が第一と考えているが、平和と安定を維持するためには確固とした国防態勢と国防意識が必要であると考えている。「国防」とか「防衛」というものは国家・国民が存続していくうえにどうしても必要なものである。これ無くして生活の安定や安心は保たれない。この考え方が普通の考え方であるにもかかわらず、我が国では、「それは右翼の考え方だ」と信じ込んでいる人が少なくない。

なぜ被爆国となったのか

昭和二十年八月六日広島に、八月九日には長崎に米軍爆撃機が原子爆弾を投下し、約三十万にも及び一般国民が虐殺された。まさに大量破壊兵器による大量虐殺である。当時の広島、長崎はほとんど「無防備のまま原爆投下を許してしまっただけ」の原因として次の点が考えられる。

その一、敵の大型爆撃機を撃墜できる対空砲がなかった。

その二、迎撃戦闘機はB2Cの飛行空域に到達できなかった。つまり、我が国土は完全に無防備となっていた。

その三、敵機が「原子爆弾を搭載しているかもしれない」という情報が我が国の国防関係者に伝えられておらず、防空部隊が安易に見過こしてしまっただけ。

その四、我が国諜報機関は、米国政府の対日爆撃計画を全く把握できていなかった。その五、米国で原子爆弾が完成し、実戦配備されたことを知らなかった。

敵国を知らなかったのか

最大の敵国である米国の軍備状況、兵器開発状況は何が何でも情報入手しなければならぬターゲットだ。数十人どころか

数千人の諜報員を米国に送り込んで、あらゆる手段を使って入手すべきだ。

それにしても、「無防備のまま原爆投下を許した」ということは余りにも情けない。二度とあつてはならないことである。原爆開発を知っていた可能性

我が国が、米国において原爆開発計画が進んでいたことを全く知らなかったとは考えられない。なぜなら、我が国でも同様の計画を進めていたからである。

我が国の原爆開発計画推進の中心人物は仁科芳雄であった。この仁科を通じて当時の核物理学の水準や核分裂による破壊兵器の開発の可能性について一定の情報我が国にも入っていたはずだ。

核攻撃を防ぐことが国防の最重要事項

我が国が二度と被爆国にならないことが肝腎なことである。

核兵器を敵国に投下する方法は二つ。一つが核弾頭を装着したミサイルの潜水艦などからの発射である。二つ目は核爆弾を飛行機に搭載して敵国上空で投下する方法である。

防衛側は、この地上からと海中からのミサイル攻撃、さらに爆撃機からの投下を防ぐ必要がある。

もっと前の段階ならば、核兵器が実戦配備されないように製造工場を叩くことも必要である。イスラエルがシリアの核関連施設を叩いたのはこの段階での攻撃で、自衛権の行使である。強い意志を持って決断すれば被爆国とならないのだ。

敵の核攻撃を叩くミサイルを保有することは自衛権の範囲であり、当然、現行憲法が許容する範囲内である。

「二度と被爆国にならない」ためにはそのための備えを持つこと以外にない。

現在、我が国に核兵器を投下する可能性を持っているのは中国とロシア、そし

て北朝鮮の三力国に限られる。被爆国にならないうたためには、この三力国の核攻撃を抑止するための最低限の兵力を持たなければならぬ。極めて当然の話である。

きちんとした国防態勢を構築していなければ外交によって相手の攻撃意図を阻止することは不可能である。外交力で相手の戦意を挫こうとするなら強力、かつ必要十分なる軍備を備えるべきだ。

被爆国こそ核武装の権利があると国際社会に訴えよ。

「二度と被爆国にはなりたくない」なら「被爆国こそ核武装の権利がある」と国際社会に訴えねばならない。外敵の核攻撃を抑止できるのは核武装しかないからである。もし核保有国が「核拡散になるから容認できない」として反対するなら、「核兵器の攻撃を受けたのは我々だ。我々が筆舌に尽くしがたい苦しみ味わったのだ」「被害を受けた方が、二度と被害を受けたくないと主張することは極めて自然であり、誰にも否定できない」と主張すべきである。これこそが本当の「ノーモア広島」である。イスラエルの核武装を参考にせよ。

我々日本人は言論の自由が保障された社会に生きている。にもかかわらず、「核武装」は議論することさえタブーとなっている。しかし、世界の現実とは異なる。イスラエル、インド、そしてパキスタンは核兵器を開発し保有している。この三国は、国際社会で全く相手にされず破滅してしまっただろうか。答は否である。彼の国は国際社会で普通の国家として認知され、存在している。

核の五大国以外で最も早く核武装に成功したのはイスラエルである。以下に述べる内容は、イスラエルがいかに困難を克服しながら核武装に成功したかという

ことについて概説したものである。そのしたたかさには驚異的なものがあり、我が国にとって参考になる。

イスラエルが、いつ、どのように核兵器を開発し保有するに至ったのかを調べてみると、実に興味深い。

一九五六年、アラブ社会主義の旗を掲げてエジプトの政権を掌握したナセルは、強烈なナシヨナリズムに突き動かされてスエズ運河の国有化を宣言した。

イスラエルの深謀遠慮

このスエズ運河を巡る一連の動きの中で、イスラエルは英仏両国のお先棒を担ぐ格好でエジプトに侵攻した。そこには深い意味があった。イスラエルは、なんとしても核開発に必要な技術をフランスから導入したかったのである。

イスラエルは、一九四八年の建国宣言からアラブ周辺国の圧力を受けていた。アラブの圧力を跳ね返すには核武装しかないと考えた。

しかし、当時のイスラエルには核開発の技術が不十分だった。先進国から導入するのが最も賢明なやり方だが、米国も英国もアラブ諸国の反応に怯えて応じようとしなかった。次がフランスである。イスラエルは密かにフランスに接近し、エジプト侵攻直前にフランスから核開発に必要な支援をもらうという密約を交わすことに成功した。

一九五七年イスラエル政府は、南部の砂漠地帯に原子炉を建設した。あくまでも「平和的な研究が目的」ということだった。「平和的な研究が目的」に賛同した米国は原子炉を提供した。これで、核開発は順調に進むかと考えられたが、翌年、米国の偵察機がイスラエル南部の砂漠地帯で想定以上の施設を建設していることをキャッチ。

偵察機の情報は直ちにワシントンに送られ、米政府から「貴国は我々が想定しない大規模な施設を建設しているようだが、その真意を教えて欲しい」との要求が出されて、イスラエル政府は驚いた。驚いたが、イスラエル政府は「当該施設は原子力開発とは関係がない」と言い逃れた。

何とか言い逃れたが、ケネディ政権になると、「現地を直接査察させて欲しい」と要求してきた。最大の援助国である米国の意向に逆らえなかった。イスラエル政府は仕方なく米国の査察団を受け入れた。しかし、米国の査察団が案内された場所は核兵器関連施設ではなく、急遽建設された偽物施設だったとのことである。

だまされる米国

米国は、北朝鮮にだまされたように、当時のイスラエルにもだまされていたのである。CIAは一九六〇年、ジョンソン大統領に「イスラエルの核開発は相当進展しており、数か月以内に核爆弾が製造できる段階に達している」と報告書を出した。ジョンソン大統領は、ケネディ同様に「核拡散」の危険性を強く認識し、強く圧力をかけたが、イスラエルは、「確かに核開発を進めているが、中東地域において最初の核兵器使用は行わない」と主張して開発を継続した。「自国の安全は自国にしか守れない」という基本理念を守りとおしたのである。この部分は、我が国が最も学ばなくてはいけない部分である。

ニクソン政権誕生が転機

イスラエル政府は、様々な手段を使って米国の要求をしのいできた。ところが米政府の要求は、ニクソン政権の出現（一九六九年一月）によって大きく転換した。ニクソン政権は、「アラブ社会に浸透する社会主義の防波堤としてのイスラエルを高く評価する」として、査察を取りやめて、

NPTへの加盟要求も取り下げた。

以上、イスラエルの核武装は米国との駆け引きにより達成された。「無抵抗のままガス室に送られることは一度とご免だ」という思いと、自国の安全が何よりも優先されるという意識があったればこそ達成できたのだ。

我が国でも「無防備のまま原爆投下を許すことは二度とあってはならない」という意識を喚起することが出来れば、後は米国との交渉となる。国益と国益のぶつかり合いだが、基本は「自国の安全は自国しか守れない」ということである。

この産経の記事、「それがどうした。」尖閣がどの領土か、何を今さら。しかし、仮に毛沢東や周恩来が「尖閣は日本のもの」と書いた一筆が出てきても、「それは覆ぼけていて書いたので真意ではない。」などと平気で言う国。一つ一つ論理で説明しても「わかりました」という国ではない。実力行使あるのみで、実力行使がなければいかなる「文」が出てきても、なんの意味もなさない。それが中国だ。 M情報 増木重夫

【政治】 明の上奏文に「尖閣は琉球」と明記 中国主張の根拠崩れる

エンターテインメント サンケイ

尖閣諸島（沖縄県石垣市）のひとつ、大正島について、中国・明から一九六一年に琉球王朝（沖縄）へ派遣された使節、郭汝霖（かく・じゆりん）が皇帝に提出した上奏文に「琉球」と明記されていたことが、石井望・長崎純心大准教授（漢文学）の調査で分かった。中国は尖閣諸島を「明代から中国の領土で台湾の付属島嶼（とうしょ）だった」と主張しているが、根拠が大きく崩れることになる。

※当日プログラムには一部変更が有り得ます。

【共催】(団体)

尼崎日朝友好協会 尼崎市議会日朝友好促進議員連盟 伊丹市議会日朝友好促進議員連盟 日朝友好兵庫県民の会 部落解放同盟兵庫県連合会 自治労兵庫県本部 兵庫県教職員組合 部落解放同盟尼崎市連絡協議会 宝塚市職員労働組合 尼崎の朝鮮学校を支える会 朝鮮学校を支える宝塚市民の会 西宮日朝問題研究会 尼崎市商店連盟 阪神医療生活協同組合 朝鮮総連各支部 (尼崎東 尼崎西 西宮 伊丹 宝塚 川西)

(順不同)

【後援】

尼崎市 伊丹市 宝塚市 川西市 尼崎市教育委員会 伊丹市教育委員会 宝塚市教育委員会 川西市教育委員会 兵庫県社会福祉協議会 兵庫県芸術文化協会 兵庫盲導犬協会 神戸新聞社 サンテレビジョン そのだライオンズクラブ 在日本朝鮮兵庫県商工会 金剛保険株式会社兵庫支社 兵庫ひまわり信用組合 兵庫同胞結婚相談所 在日本朝鮮文学芸術家同盟兵庫支部 兵庫朝鮮歌舞団

(順不同)

PROGRAM 1 PROGRAM 2
Fusion Music of Korea
Includes program details and photos of performers.

Kumgangsan Opera Troupe Special Live 2012
Includes photos of the troupe and performance details.

税金から支払うのですか?
④チケットなどの窓口をさされるのですか
⑤教育委員会後援となっていますが、各幼稚園、小中学校等に宣伝するのですか
やめて下さい。
以上、後援の取り消しを求め、また質問にお答えいただきたいと思ひます。
金剛山歌劇団全国トサ周り表
7月16日 愛知 日本特殊陶業市民会館
7月17日 ビレッジホール
9月18日 北海道札幌教育文化会館
10月4日 北海道函館市民会館
10月18日 群馬 高崎
10月18日 長野 松本文化会館
10月19日 長野 上田市民会館
10月21日 千葉 千葉市民会館
10月26日 兵庫 阪神地区(西宮)

救う会大阪では、毎月第3日曜日、午後2時より、約1時間半、地下鉄御堂筋線終点「千里中央」駅、階上で、北朝鮮に拉致された横田めぐみさんや、有本恵子さんらの救出を求め、定例街頭署名を行なっています。
10月は、定例活動を前記の通り、変更いたします。金剛山歌劇団の諸君や観劇に参加の皆様、拉致問題が解決されていないことを訴えたいからです。

救う会大阪10月の街頭署名
日時 10月26日(金)
午後5時〜7時
会場 兵庫県立芸術文化センター前歩道上(阪急西宮北口駅南側)

10月20日 兵庫 阪神地区(西宮)
10月26日 岡山 岡山市
10月31日 奈良 桜井市
11月2日 滋賀 大津
11月5日 長野 ホクト文化会館
11月8日 福島 郡山
11月14日 京都 パルスプラザ稲盛ホール
11月15日 和歌山 和歌山市
11月16日 福岡 福岡市
11月20日 福岡 北九州ソレイユホール
11月21日 山口 宇部
11月22日 山口 下関DOS
11月28日 茨城 茨城県民文化センター(水戸)
12月1日 東京 町田
12月18日 東京 新宿文化センター
金剛山歌劇団公演日程
http://www.kot-jp.com/schedule.htm

H24-7-15 猛暑にめげず、千里中央で該当署名 救う会大阪

3ヶ月先のことで、状況が変化する場合があるので、ご協力いただける場合、必ず直前に電話確認をお願いいたします。090-137101-4815
私(増木)が最も納得できないことは野田総理のブルーバッジ。意味がわからん。我々一般国民が、拉致救出を政府に訴えるシンボルがブルーバッジ。訴えを受ける方がバッジをしてどうする。野田総理はブルーバッジで誰に何を訴えようとしているのだろうか。



北朝鮮珍道中訪問記

神戸市 佐野賢治

先ず、最初にお断りしておく。今から掲載させていただく佐野氏の原稿を7月始め、ネットで流した。そうすると早速数本電話や返信があった。佐野氏に対する批判だ。「こいつは北朝鮮に取り込まれた」「国賊だ!」「売国奴!」等々。

私は、もっと深読みしてくれ。と言った。もちろん品よく。もし今から、アメリカと戦争するならば真っ先に英語を習うだろう。相手国の言葉もわからず戦争に勝てるわけがない。

北朝鮮と仲良くなる。そして中に入り込む。拉致された日本人を取り返す。それから北に一気にケツをまくる。彼女にするまでは忍の一字と言っただけだ。そのようなことを踏まえて読んでいただきたい。佐野氏は工作活動ができるスーパー保守。

M情報 増木

朝鮮訪問記

期間 平成24年4月27日〜5月9日
参加 経済・政治・歴史・友好の4チームによる学者を中心とした総勢58名
□受け入れ先 朝鮮対外文化連絡協会 (通称: 対外協)

□局長 黄 虎男

(小泉訪朝時の金正日総書記の通訳)

□副局長 孫 哲秀

□通訳 金 哲(平壤外大教授)

日本とは国交が無い為、北京から高麗航空で入国(約2時間)。駐機場にはロシア製の最新鋭機が並んでいたが我々はチャーター便で、搭乗した飛行機は旧ソ連製のツポレフ型でかなり古かった。

不安を感じていたが、搭乗前に操縦士は空軍上りの超一流なので安心との説明があった。また客室乗務員もおり、一通りのサービスを提供された。朝鮮では南男女女と言われており、平均して美人の女性が多かった。

着陸後、入国審査場までバスで移動し、かなり不便さを感じたが、新空港を建設中であり、旧滑走路への着陸であった。入国審査では、訪朝団という事もあって、検査もなく順調に入国できた。

出迎える兵士も笑顔で友好的であった。宿泊先は竹中工務店が建築した高麗ホテルで、答礼の宴が最高人民会議の洪善玉副議長が催して下さった。

(市内の様子: インフラ事情)

電力事情は思ったほど悪くなく停電が心配されたが、滞在期間中は一度も無かった。市内に火力発電所が2箇所あり他にも増設中とのことである。給水事情は悪くホテル以外の施設では、トイレは水洗でも水がこなく、バケツに貯めたりして手を洗ったりする場面が多かった。

(食料品・料理) スーパーで売られ、

飲食店でもフンダンに用意され、ひもじい思いをしている様子は無かった。野菜・魚・米が主食。その他の食料はスーパーで豊富に取り揃えられ、我々が見た範囲では食に困っている民衆はみかけられなかった。

肉事情は良くはないようであり焼肉店へ行っただけはみたが牛肉は無く、代用品として豚、ダチョウ肉を使用していた。主に豆腐やコンニャクといった質素な食材

を豪華に盛り付けて、見せかけは上手だ。(住宅事情) 高層住宅が建ち並んでいる。千里ニュータウンまでいかになくて神戸の名谷規模。市内のいたる所で、共同住宅(日本の市営住宅みたいなもの)が建築中である。一見すると、建築ラッシュでダブルを彷彿させるものであった。

家賃はタダとの事(労働日数で払う)高層建築物が好みのもので、主たる施設は大理石がフンダンに使用されており、中世の宮殿のようだ。正面入り口の目立つ場所には必ず金父子の銅像、もしくは肖像が掲げられており、清掃が行き届いていた。

(道路事情) 道路は甚盤の目のように整備されている。車の量も年々増加しているらしく、多くの交通警察が取り締まりをしていた。主に欧州車であり、高級車が多かった。日本車は制裁もあって殆ど走っていない(但し、バスや重機はあり)

(市民の様子) 市民は小綺麗な服装で、全員が労働党バッジを付けていた。バッジの種類が違っていたが階級によって違っていたのである。女性は化粧を施し、お洒落に着こなし、身なりは清楚に感じられた。携帯電話も普及し、歩きながらメールをする若い市民が多く見受けられた。みずほらしいペンや食・たむろする不良少年も見受けられず、道徳観念はかなり持っているようであった。民族教育をしているせいらしく、不良はいないとの事である。

板門店へ行く道中は田舎道が続き、両脇の畑に農作業から帰る人達が見受けられた。説明によると、労働党幹部を含めた国民のほぼ全員が年間の内、2週間程度、従事するとの事であった。また農作業へ行く時の方が遠足気分であるとの感想が聞けた。

(教育施設) 平壤第一中学を訪問した際は、教頭が出迎えてくれ、授業参観を行った。日本語の授業ではパソコンを使いながらの授業であった。見せかけは上手だ。

の授業であった。 (人民大学学習室) 国交が無い為、日本語を学ぶ生徒は激減しているらしい。変わりにロシア語が盛況であった。日本の大学と違って、学生は熱心に勉強をしていた。

(平壤図書館) コンピュータによって管理がなされており、書籍の閲覧には便利である。外国の音楽CDの室もあり、ここでは日本の歌謡曲が人気であった。老若男女を問わず、音楽に関しては日本の曲が圧倒的人気である。

特に演歌や昭和歌謡(尾崎喜代彦・九ちゃん・松山千春・小林旭・都はるみ)

(娯楽施設) 遊園地は午前1時まで営業し、多くの人々が列をなして行儀良く並んでいた。金正恩大将が、遊園地の植栽が汚いと激怒した遊園地。

(万景台学生少年公演団) 絵画・バレエ・体操・合唱団などの英才教育をしており子供の文化レベルは高い比較的高貴な芸術を教える取り組みで、子供の顔は素朴で純粋に見えた。

子供の民度は日本より高いように感じられた5月1日のメーデーには「市民との触れ合い」が目的で、各所で開催されている運動会を見学し、市民との対話が行われた。自由に平壤市民と対話が出来こちら側の学者からの日本についての印象は

国に対しては経済制裁等で嫌悪感はある。日本人個々には同じ亜細亜の民であり、友好関係を構築したい。米国の手先になって敵対行為を行っている。早く対米盲従を辞めるべき等

殆どの平壤市民から同じ答えが返ってくるのは教育や報道が統一されている為であろうと思われる。日本より「米国憎し」の印象を受けた。対外協の説明では、日朝関係は今までで最悪の時期であり、

市民感情は悪いとの事その影響で以前は日本語学科が盛況であったが、現在は激減し数名のみらしい。

万寿台丘 (金主席・総書記の銅像)

主体思想塔・金正淑託児所・平壤産院・など公共施設の視察があったはずも豪華な大理石貼り、玄関など目立つ場所には金父子の像、または直筆の書が掲げられている。

革命烈士陵

平壤市内を一望できる丘にある、祖国解放 (抗日) の為に殉じた者のお墓 (靖国神社みたいなもの) で綺麗に保たれ、花が絶えず供えられていた。子供達が手を挙げて敬礼しているのが印象に残った。国家教育は行き届いている。日本も見習うべき

朝鮮映画撮影所

京都の太秦映画村みたいなところ。日本統治時代の満州を再現している

大同江ビール工場

朝鮮最大の酒造工場。生ビールもある。味は欧米のライトビールのように、コクはないが飲みやすい。

国境・板門店・有事の備え

朝鮮到着時は南朝鮮との緊張が高まっていた為、板門店での兵士は戦闘用軍装であった。決意を南側へ知らしめる為らしい。何重にも検問が張り、護衛の為に小銃を携帯した兵士が我々のバスに乗り込んで来た。米国から休戦を引き出したという事を宣伝するのが目的であるように思えた

地下鉄

米国の核攻撃にも耐えられるよう大深度 (自称 300m) に施設され、万一の場合は十分に避難できそうに感じられた。地下鉄車内では軍歌調の歌が流れ、違和感を感じた。構内は戦前の御堂筋線

のようであり、昭和時代のように懐かしかった。かなり深かったので実際、核攻撃があってもかなりの人数を収容できた。有事に耐えられそうな雰囲気ではあった。有事に耐えられそうな雰囲気ではあった。有事に耐えられそうな雰囲気ではあった。有事に耐えられそうな雰囲気ではあった。

国交樹立への朝鮮の主張

米国追従の経済制裁を辞めるべき日本の経済制裁で朝鮮のダメージは無く、むしろ日本が経済面で損をしている平壤宣言を遵守し国交樹立へむけた取り組みをすべき (過去の清算・謝罪、補償)

拉致問題について

解決済みであり日本は平壤宣言を遵守すべき。一時帰国者を戻すべきである横田めぐみさんに関しては、発表が全てであり、関係者は処罰した。金総書記が認めて謝罪するという事は、凄惨な事である遺骨鑑定について他の機関の結果も発表すべき (3ヶ所で検証)

※植民地、慰安婦について質したところ、厳しく反論された。「拉致」を言っているのであれば侵略した日本も謝罪せよ。植民地 (併合) (戦時売春婦 (慰安婦) ・徴用 (強制連行 800万人))

補償問題

南朝鮮と同等額の経済援助など、在日朝鮮人への弾圧を辞めろ (主に在特会) 在日遺骨返還問題

対外協 黄局長の個人的意見

小泉訪朝時の金正日の通訳。国交正常化されれば、駐日本大使の筆頭候補とされる昔は日本局は花形であり、現在はこのような状況になって寂しい。同じアジアの民族なので、早く米国から脱却をし、友好関係を構築しよう。

日本と朝鮮の認識や意見が違つのは当たり前である。考えが同じであれば、国が成り立たない。

我々は天皇を否定していない。金日成が唱えた愛国・愛族・愛民は、日本の保守と相通するものがあるはずである。次回は右派の訪朝団を結成してきてほしい。保守派を取り込んで世論を形成させ、国交正常化へ向けた地ならしの可能性を感じた。

一般的な感想

一部、仕込みや演出があったように感じるが、全般的には下記の通りである人間は南朝鮮より純朴であり、擦れていない、義理堅い。はつきり物事を主張する。女性はお淑やかで、質素で恥ずかしがりである。子供は子供らしく純朴で、行儀が良い。

報道は反日的ではあるが、主に米国に対してである。現状のままでも東欧や中東からの貿易があるので困窮はしていない。愛国心に満ち溢れ、一旦緩急についての危機意識もしっかりしている。国民は勤勉で、道徳心がある。手先が器用である。

補足

副議長へ「保守の一員です」と挨拶のあと、若い通訳が目を見つめて「あなた方右翼は卑怯です」と怒って文句を言ってきた。どうも在特関係の朝鮮学校襲撃について怒っているらしいが、客人の我々に、ハッキリ物を言ってくることは、熱血漢である。主義思想が違つても、男として相通する物があった。その後、友情関係が生まれた。帰国してから日本人より綺麗な文章で書かれた丁寧なお礼の連絡もあった。

「道徳教育を充実させよう」と言っている保守層でも不義理な連中が多い。そんな奴らより、よっぽど義理堅く誠実であると感じた。議論中、小生の「植民地併合・慰安婦・売春婦・連行・徴用」の主張に対し、訪朝団員側 (日本人) から「アంతアそんな質問失礼や」、「日本が朝鮮に迷惑をかけた」、「歴史知らなすぎる」等、小生の意見を真っ向から否定する場面があったが、

朝鮮側は複雑な顔で黙りこんでいた。日本人側に気を遣つてしまひ、言いたい事が言えず議論が出来なくなつてしまった。その後、朝鮮側から「日本人は我々の前では、耳触りの良い事を述べているが、帰国すれば違つた事を言う。何が本心か分からない」と言っていた。また「私達は馬鹿ではない、自国の悪口を言う連中が信用できませんか?」とも言われた。

相手側 (朝鮮) に来て、はつきり意見を主張した小生に好感を持ってくれたようであった。それから毎晩、朝鮮側からお誘いがあり、相対して議論が出来た事は成果があったように思えた。朝鮮側は、耳触りの良い言葉よりも真の意見を聞きたくったと思う。お弁ちゃら土下座外交で南朝鮮との禍根を残した事に学ばなければいけない。しかし国家の主義、思想の良し悪しは別に、朝鮮には秩序があった。日本人が忘れ去つてしまつた道徳心、向上心があった。我々保守が創り上げようとしている国の姿があった。子供の頃、お爺さん、お婆さんから聞かされた昔の日本のような感じがした。一番ダメなのは、自国の歴史を正しく理解せず、朝鮮の言うが儘に迎合し、遠慮しすぎて主張が出来ない日本人や国内外に限らず、偏向的な報道を垂れ流す日本のメディアである。しかし、我々保守側が朝鮮と急接近するの間違つた世論を形成する危険もある。基本的には社会主義の国である事を認識するべきであり、慎重に接するべきである。繰り返してはいるが、主義思想の相違があれど、今回の訪朝で、友情関係を構築できたと思ふ。

今後朝鮮を訪問したい。拉致問題を含め、多くの難題があるにせよ、日本人として堂々と意見を述べ、市民レベルから国交正常化に向け尽力したいと思う。

いじめに負けるな
〜強い子に育てよう〜
H24-7-14 日本会議和歌山 柳岡克子

大津市の中学校の年生の男子生徒が飛び降り自殺した問題がいじめによることと、連日マスコミで報道されていきます。そもそも私が講演活動をするきっかけになったのは、自殺する人がいるのを憂い、なんとかしたいと思ったからでした。私の講演では、「相手の痛みを感じられるようになる。」、「相手の気持ちになって考えよう」と言っています。いじめをなくすことに力を入れています。でも「私を見てください。いろいろなことを乗り越えてきた私ですが、今元気にしています。皆さんも自分の命も他人の命も大切に決めて自分から先祖様からつなげてきた命を大切にさせていただきます。生きている間は楽しいこともあるでしょう。」と語っています。そんな講演を10数年。あちこちで命の尊さを訴え続けています。しかし、毎年3万人の方が自分で命を絶っているのが現状です。

自殺する人の苦しみ、悩み、つらさはかりしれなく、遺族の方々の悲しみを思うと痛たまれませんか。今回は、自殺の原因に「いじめ」があったのではないかと、いじめが問題視されています。周りも認めるような「いじめ」があったにもかかわらず自殺に至ってしまったのは、とても残念で、食い止められなかったのか悔やまれます。去年の10月のことなのに今頃になっていろいろなことが明るみになって、因果関係やら責任やら裁判やら傷害事件などについて関係機関が動き出

しました。思春期ですから悩むこともあるでしょう。むかつくこともあるでしょう。そのうっぷんを他人に向けるのはよくないことです。昔は、止めに入る子は格好よかったのですが、最近は、次は自分がいじめられるのではないかと恐れて見て見ぬふり

する卑怯な子が増えました。また、インターネットでの書き込みなど陰湿で表に現れにくいいじめも出てきました。殴ったとしても喧嘩の程度を知りません。加害者と思われる子や家族の写真までインターネットで流れるのは、個人情報保護が言われている時代に由々しきことです。パンダが死んで大騒ぎするなら今こそ、命はリセットできないことを幼い子に教えるいい機会です。

テレビのコメントーターが言わないなら、批判も覚悟で私が言います。いじめはなくなりません。原因を見つけてもなくなりません。もし原因がわかっても自殺は減りません。自殺を減らす方法があるとしたら、強い子どもを育てることです。いじめられても「なにこそ！いつか見返してやる！」ぐらいの気持ちを持たせることが大切です。そして周りのその子の存在を大切にしているということとを伝えることが重要です。皆からかけがえのない存在であると思われているというところに本人が気付くと、簡単に死ねないと思います。近くに家族も「あなたが生まれてきてくれてよかった。」という気持ちを言い続けることが必要です。また学校は、道徳教育を充実させ、生徒一人一人の生きる力を育てるような教育に力を入れ

てほしいと思います。私は、障害があっても支援学校(旧養護学校)ではなく、普通の学校に通って

いたので、いろいろなことは山ほどありましたが、一つ一つ数えていたら命がいくつあっても足りません。それでも今こうして元気に生きているのは死ななかったからです。普通学校に行かせてもらえたおかげで、悪戦苦闘、もまれながらも打たれ強くへこたれない人間になれた気がします。社会に出たら厳しい現実が待っているのですから、頑張ろうと思っ生きてきたことがよかったのです。

やんちゃな連中の多かった御坊中学校では、あちこちでいじめのような事件が多発していました。でも、今はどちらも立派な大人になっています。私は自転車に乗れないことが悲しくて死のうと思いましたが、でも18歳になって車の運転免許を取れることがわかったら「車の方が速いしそれまでの辛抱だ」と思いを変えることができたのです。体のことで悩んでも体が良くなるわけではないのだから、もう泣くのはやめようと思ったのです。五体満足の皆様ならいじめなんかには負けないで、これからの楽しい将来を夢見て強く生きていってほしいものです。

~~~~~  
「いじめに負けるな〜強い子に育てよう」を発信されている柳岡克子さんご自身「ハンディー」を持たれそれを乗り越えて来られた方なので、説得力がある。  
~~~~~

柳岡さんが言われる「なにこそ！いつか見返してやる！」という気持ちと言いか考えかたを持てるのには、健全な脳の発達が前提になると考える。【↑この考え方の根拠は、明星大学教授・高橋史朗先生の「研究結果による」】
高橋説によれば、健全な脳の発達には、母親

の愛情とバランスのとれた食事が大切な由。ことに4歳までの母親の献身的育児が大切だと思う。そして9歳までの厳しいつけである。

高橋先生に言わせると、テレビを見ながら赤ちゃんに授乳させる母親が増えていくんだそうだ。そしてこれではだめで、やはり母親は子供の目を見つめ、語りかけながらおっぱいを舂ませるのが自然だし、いいんだそうだ。

母親の語りかけ、見つめ、抱きしめなどが欠如し、且つ離乳後偏った食事を与えると脳の発達がいびつになり、自己制御不全にすぐきれるとか我慢できないなど。の病状！を呈し、非行に走ったり、弱い子をいじめることなどで自己満足する問題児になるんだそうだ。

結論に飛躍するが、育児を労働と見る左翼思想は危険である。やはり育児は人間を育てる崇高な行為であるとの考えかたが必要と考えている。

~~~~~  
前記、奥中市のコメントを読んで  
H24-7-18 神川 本間清史  
小生も下記観点では大いに賛同いたします。大事なことだと思います。  
男女共同参画・シエンター学会などでは、母性神話、三歳児神話について、「母性は本来なく強制的な教育でつくられたもの」、「三歳まで母親がそばで育てる必要はない」などと今でも発信しているのです。

東京大学や東京工業大学のホームページを見ると、男女共同参画推進本部などが設置されており、「どこの研究室には育児託児所があります」などのばかげた記事が載っております。現場の教授の方々もあれはおかしいと言っている人が多いのに、国からの要請だからと言って

おりました。相当な補助金が国から出ているのでしよう。男女共同参画予算は国防予算に匹敵すると聞いたことがありま

また、日本化学会や日本応用物理学会では理系の学会なのに「男女共同参画シンポジウム」が年會ごとに開催されてお

ところで講演会を続けております。社会への女性進出(会社に就労し、偉くなる)ばかりが自己実現であると強調し

「うごめ」私せし言

H24-7-18 M情報 増木重夫
ちょっと見方を変えて考えてみましょ

められる。種の保存による必然性がある訳です。例えば、オットセイのハーレム

大津の自殺の件で「いじめ」、「いじめ」と大騒ぎするが、私には理解できない。なぜ今回の「自殺」が「いじめ」が

校長は、組合の言いなりで、「警察は教育現場には入れない」などと、自分に解決能力もないくせに馬鹿なことを言っ

編集後記

大津のいじめ、危機迫る尖閣、復活する金剛山歌劇団・・・
「TOPをぶれ」しようか、構想を練り、

一発で吹っ飛び。迷っていたら追いつかない。片っ端から原稿を置く。紙面がもうグチャグチャ。私のセンスを粉々にくだいてくれる。

活動資金(協力)のお願い

【J支援等の口座】
郵便振替 008800024654 MASUKI情報デスク
三栄東京 JCB 銀行 甲支店 024349 普通 増木重夫

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このサポートにもありますように、私どもは

- 使用申請料等・交通費、通信費
資料、印刷等の制作費・備品購入費
M情報が運営を行っている主な団体
救う会大阪・NO! 民主「桜組」
靖国神社に眠る御霊に感謝する会
米国に原爆投下謝罪を求める会
大阪の公教育を考える会
スパイ防止法の制定を求める会
外国人参政権に反対する会・関西
日教組の違法行為を追及する市民の会
竹島を奪還する会・関西
改憲祈念の会

原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は現在のところ毎月月初めに全国約5千(目標1万)部

までお送りください。また、弊紙は郵メールで発送しています。重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

諸情報のメール配信について

弊『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報

試しに一度受信してみてください。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO 法人百人の会」)。